

研究紀要

第21号

平成16年3月

目次

論説

コンピュータを使った法学試験	伊藤博文	1
松田道雄の育児思想について()		
伝統的育児法に学ぶ父親の役割	大森隆子	21
舞踊におけるナンセンスのセンス	岡本雅子	31
次世代育成支援時代の保育者養成	佐野真一郎	39
目的指向型会計基準の設定に向けた諸問題の検討	中山重穂	49

研究ノート

医療情報の電子化と医療事務の今後	長谷川正志	65
------------------------	-------	----

資料

指導記録「青い空コンサート」		
アンサンブル演奏の指導についての報告	井中あけみ	71
講演要旨『塩の道』		
とくに「古代製塩法」について	大林淳男	79
第49回豊橋まつり		
「とんとん踊りコンテスト」参加報告	岡本雅子・青嶋由美子	87
児童虐待 事例報告	加藤三雄	97

翻訳

ロバートE.オリファント著 伝統的な教室環境で「ハイテク」ツールを使う		
2セメスターにわたる実験	伊藤博文	107

解釈

J.S. バッハ作曲「三声シンフォニア」の楽曲分析と演奏解釈		
第3番 二長調 BWV 789	藤本逸子	137

BULLETIN of TOYOHASHI SOZO JUNIOR COLLEGE

No. 21

March 2004

CONTENTS

Articles

- Hirofumi ITO:** Computer Based Legal Testing 1
Takako ŌMORI: On Michio Matsuda's Thought of Child-rearing (V) 21
Masako OKAMOTO: A Sense of Nonsense in the Dancing 31
Shin'ichiro SANO: On Training of Nursery Teachers
in the Age of Support for Fostering Future Generations 39
Shigeho NAKAYAMA: A Study on Subjects
of Objectives-Oriented Accounting Standards Setting 49

Brief Notes

- Masashi HASEGAWA:** Electronic Medical Information
and Medical Secretariat in Future 65

Materials

- Akemi INAKA:** A Record of Teaching "AOISORA Concert"
—A Report on Teaching Ensembles— 71
Atsuo ŌBAYASHI: Gist of Lecture "Salt Road" 79
Masako OKAMOTO, Yumiko AOSHIMA:
A Report on the Participation in *Ton ton* Dance Contest
"the 49th Toyohashi Festival" 87
Mitsuo KATO: Child Abuse Case Report I 97

Translation

- Hirofumi ITO:** Robert E. Oliphant, *Using "Hi-Tech" Tools
In A Traditional Classroom Environment*
—A Two Semester Experiment 107

Interpretation

- Itsuko FUJIMOTO:** An Analysis and Interpretation of J.S. Bach's
"Die dreistimmige Sinfonien" —Sinfonia 3 D dur BWV 789— 137

Published
by

TOYOHASHI SOZO JUNIOR COLLEGE
Toyohashi, Japan

編集規定

1. 研究紀要編集委員会

- 1-1. 本誌は、豊橋創造大学短期大学の機関誌として、年1回3月に発行する。
- 1-2. 本誌の編集のため、豊橋創造大学短期大学部に研究紀要編集委員会を置く。
- 1-3. 研究紀要編集委員会は、委員長と各科から選出された編集委員から構成される。
- 1-4. 本誌の編集は、豊橋創造大学短期大学部にある研究紀要編集委員会の責任のもとに行われ、編集委員会の議決を経るものとする。
- 1-5. 論文は、編集委員会の審査を経て掲載される。
- 1-6. 論文の原稿は、所定の執筆要領に準拠したものに限る。
- 1-7. 掲載の場合、編集技術上原稿の一部に添削を加えることができる。

2. 内容

論文は、学術論文としてふさわしいものとし、未公開のものに限る。

3. 執筆資格

執筆者は、豊橋創造大学短期大学部・豊橋創造大学の専任教員・非常勤教員および研究紀要編集委員会が執筆を認めた者に限る。

4. 執筆要領

- 4-1. 原稿は、ワープロ等で作成した原稿を原則とし、提出時にはフロッピーディスクと印字した原稿を提出する。
- 4-2. 一論文の長さは、原則として16000文字程度(10ページ程度)とする。図表等は掲載の大きさに従って所定のページ数に参入する。
- 4-3. 記述は、簡潔、明確にし、日本語の場合は現代かなづかい、常用漢字を使用する。
- 4-4. 原稿は、かい書で左横書きとし、第一枚目には題目(副題および欧文タイトルも含む)、氏名(ふりがなと欧文による表記を付する)を明記し、本文は第2枚目から書きはじめる。
- 4-5. 脚注は、本文内容の補足説明にあて、通し番号を付ける。
- 4-6. 引用(及び参考)文献の表示は、次のとおりとする。
 - 4-6-1. 雑誌の場合、著者名・「題目」・雑誌名・巻号数・論文所在ページ・発行年の順とする。特に雑誌名は省略した表記をしないように注意する。
 - 4-6-2. 単行本の場合、著者名・『書名』・発行所・発行年の順とし、翻訳の場合は、原語によるもののほか、末尾に(訳者名・書名・発行所・発行年)を付する。
- 4-7. 表図は表1、図1、のように記し、通し番号とする。
- 4-8. 論文の区分は、論説(Article)、研究ノート(Note)、資料(Materials)、翻訳(Translation)、その他とする。
- 4-9. 原稿は、豊橋創造大学短期大学部研究紀要編集委員会に提出する。

5. 論文の体裁

発行時の体裁は、本文2段組、脚注1段組を原則とする。これ以外の体裁をとる場合はその旨を原稿表紙に明記する。

6. 校正

校正は執筆者が行なう。必要な場合は研究紀要編集委員会が行う。

7. 著作権

- 7-1. 本誌に掲載された論文の著作権は、執筆者本人と豊橋創造大学に帰属する。
- 7-2. 掲載論文は冊子による出版のほか電子的に蓄積し、豊橋創造大学附属図書館が行う情報提供サービスにより公開する。

8. その他

- 8-1. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
- 8-2. 執筆者に対しては、抜刷20部および本誌1部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
- 8-3. 本誌に掲載された論文を無断で複製及び転載することを禁ずる。

9. 改訂履歴

- 9-1. この規定は、平成14年発行豊橋創造大学短期大学部研究紀要第19号より適用する。
- 9-2. 履歴
昭和59年発行豊橋短期大学研究紀要1号にて編集規定制定。
平成9年発行豊橋創造大学短期大学部研究紀要第14号より、大学名称の変更に伴う規定改編。
平成11年発行第17号より、7-2改訂、7-4削除。
平成14年発行第19号より、7. 著作権の規定を加える。

豊橋創造大学短期大学部研究紀要第 21 号
Bulletin of Toyohashi Sozo Junior College 21

執筆者紹介(掲載順)

伊藤博文	本学実務教育科教授
大森隆子	本学幼児教育・保育科教授
岡本雅子	本学幼児教育・保育科専任講師
佐野真一郎	本学幼児教育・保育科助教授
中山重穂	本学実務教育科専任講師
長谷川正志	本学実務教育科助教授
井中あけみ	本学非常勤講師
大林淳男	本学非常勤講師
青嶋由美子	本学幼児教育・保育科教授
加藤三雄	本学幼児教育・保育科助教授
藤本逸子	本学幼児教育・保育科教授

2003 年度豊橋創造大学短期大学部研究紀要第 21 号編集委員

委員長	実務教育科	伊藤博文
委員	幼児教育・保育科	佐野真一郎
委員	幼児教育・保育科	伊藤晴康
委員	実務教育科	中山重穂

2004 年 3 月 15 日発行

発行所： 豊橋創造大学短期大学部
〒 440-8512 愛知県豊橋市牛川町字松下 20-1
TEL (0532)-54-2111
FAX (0532)-55-0803

交換事務取扱： 豊橋創造大学図書・情報センター

印刷所： 有限会社 三愛企画 TEL(0532)-88-0556(代)
